



リチウムイオンバッテリー
取り外し・回収マニュアル
アルカナ マイルドハイブリッド
(7AA-LJLH5HH)

2024年7月

目次

1. はじめに	2
(1) はじめに	2
(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項	3
(3) 安全な回収のための重要事項	4
1) コネクター、端子の処理	4
2) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止	4
2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼	5
(1) 引き取り依頼	5
(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項	5
(3) リチウムイオンバッテリー取外しに関する問い合わせ	5
3. 液漏れへの対応	6
4. 引き取りをお断りする事例	7
5. 安全な取り外しのために	8
(1) 車両外観上の特徴	8
(2) リチウムイオンバッテリー搭載車両の確認	9
6. リチウムイオンバッテリー取り外し	10
7. 引き取りの準備	12
(1) リチウムイオンバッテリーパック梱包方法	12

1. はじめに

(1) はじめに

リチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアル(以下「本マニュアル」)は、当社が輸入・販売するハイブリッド車が日本国内において廃車になった際、搭載されているリチウムイオンバッテリーを回収・リサイクルするための解体事業者向けマニュアルです。

安全に作業していただくために、事前に本マニュアルをよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

車種によりバッテリーユニットの形状、取り外し方法等が異なりますので、必ず車種をご確認の上、対応するリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルを熟読いただき、安全な作業を行ってください。

本マニュアル、及び各車種のリチウムイオンバッテリー取り外し・回収マニュアルは、ルノー・ジャポンホームページにも記載しており、今後発売する車種についても順次掲載していきます。

URL: https://www.renault.jp/after_service/recycle_data/price_02.html

(2) リチウムイオンバッテリー取り扱い時の注意事項

ルノー・ジャポン(株)では、当社製リチウムイオンバッテリーの転売・譲渡・改造・二次利用等による事故・損害等については、その一切の責任を負いかねます。

使用済リチウムイオンバッテリーの取り扱い時には、以下の注意事項をご確認の上、十分ご注意ください。なお、以下の注意事項を遵守しない場合は、重大な損害や法的責任が発生する場合があります。

二次利用・高電圧に関する注意

リチウムイオンバッテリーは分解・改造または不適切な二次利用を行うと、感電、発煙・発火、電解液漏出事故等が発生し、重大事故に繋がる恐れがあります。

- 分解、改造などバッテリーに手を加えないこと
- 高所からの落下などバッテリーを破損させるような衝撃を与えないこと(衝撃を加えられると火災や液漏れが発生するおそれがあります。)
- 直射日光/雨水があたらない場所で保管すること
- 取り外したバッテリーは火に近づけたり、加熱したりしないこと

(3) 安全な回収のための重要事項

1) コネクター、端子の処理

ハイブリッド車から取り外したリチウムイオンバッテリーは取扱いに注意が必要です。

取り外したバッテリーのハーネスコネクター、端子は取り外し後直ちに絶縁処理を行ってください。



2) 転売・譲渡・改造・二次利用の禁止

安全上の事故防止のため、絶対に転売・譲渡・改造または不適切な二次利用をしないでください。

リチウムイオンバッテリーが適切に回収されずに改造されたり、転売・譲渡、又は不法投棄により第三者に渡ると、相手方でこれらの危険性が認識されず、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

車両からリチウムイオンバッテリーを取り外した後は、速やかに自動車再資源化協力機構(自再協)HPより回収を依頼してください。

2. リチウムイオンバッテリー引き取り依頼

リチウムイオンバッテリーを搭載したまま車両のソフトプレス等を行うと、発火のおそれがありますので、必ず取り外してください。

(1) 引き取り依頼

＜LiB回収受付窓口＞

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

⇒リチウムイオンバッテリー（LiB）引取依頼システム（<https://www.lib-jarp.org/>）

＜LiB回収、引き取り依頼についての事務的な問い合わせ先＞

自動車再資源化協力機構（自再協）－JARP－

LiB 回収グループ

info-libsystem@jarp.org

0570-000-994【平日 9:00～17:00（年末年始及び土日祝祭日を除く）】

(2) お引き取りに関する依頼及び注意事項

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

リチウムイオンバッテリーの具体的な取り外し作業は、各車両別の取り外し・回収マニュアルに沿って行ってください。

下記ホームページ上で最新版をご確認ください。

取り外し・回収マニュアル掲載ホームページアドレス

https://www.renault.jp/after_service/recycle_data/price_02.html

(3) リチウムイオンバッテリー取外しに関する問い合わせ

リチウムイオンバッテリーの取外しに関する問い合わせは、下記にご連絡をお願いします。

ルノー・コール: 0120-676-0365

受付時間: 9:00～18:00（年中無休）

3. 液漏れへの対応

リチウムイオンバッテリーの電解液は無色透明で芳香臭があります。

電解液は、万が一リチウムイオンバッテリーが破損した場合にも、リチウムイオンバッテリーから大量に流出することはありません。

万が一、リチウムイオンバッテリーの電解液が漏れている場合は引火性があるため、直ちに火気より遠ざけてください。十分に換気を行い、電解液は耐溶剤保護具を着用してウエス等で拭き取ってください。

また、液漏れした電解液及びその蒸気は、空気中の水分と反応して酸性の物質を生成する可能性があり、皮膚や目に刺激性があるため、万が一、電解液に触れたり目に入ったりした場合は、多量の流水でよく洗い流し、速やかに医師の診断を受けてください。

リチウムイオンバッテリー電解液以外のフルードは、エンジン車両で使用されている一般的な自動車フルードと同様です。エンジン車両の場合と同様の処置を行ってください。

注意: 電解液漏出時に用いる吸着マット、ウエスの廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の産廃業者に委託してください。

4. 引き取りをお断りする事例

本マニュアル対象外のリチウムイオンバッテリー、又は車種別取り外し・回収マニュアルに沿わない取り外しによるリチウムイオンバッテリーは原則として引き取りはお断りさせていただきます。

本マニュアルに沿った取り外しが行われていないため引き取りをお断りする事例
(代表例)

- ① ニブラ等重機を用いたためリチウムイオンバッテリーが変形・破損したもの
- ② バッテリーケースを分解したもの
- ③ 屋外に長期間放置されて損傷が激しいもの

5. 安全な取り外しのために

車両外観、車両型式の確認を行い、安全な取り外しを行ってください。

(1) 車両外観上の特徴

本マニュアルは、ルノー・マイルドハイブリッド車専用マニュアルです。

下記の特徴から車種を特定してください。

アルカナ マイルドハイブリッド車



(2) リチウムイオンバッテリー搭載車両の確認

本マニュアルは、12V リチウムイオンバッテリー搭載のマイルドハイブリッド車専用のマニュアルです。

12V リチウムイオンバッテリー仕様車と高電圧リチウムイオンバッテリー仕様車がありますので、以下の方法で識別をお願いいたします。

12V リチウムイオンバッテリー搭載車(アルカナ マイルドハイブリッド車)

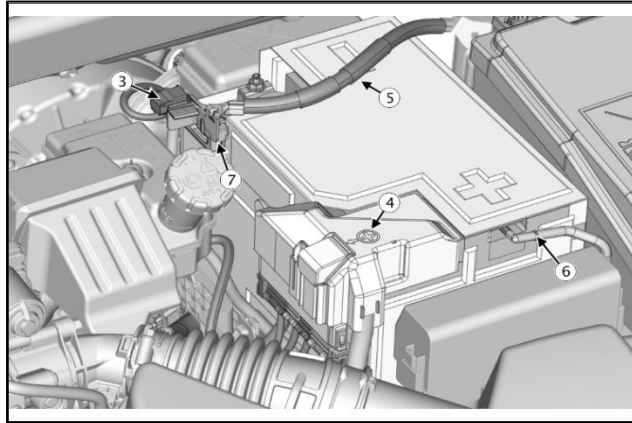


高電圧リチウムイオンバッテリー搭載車(アルカナ E-TECH HYBRID)

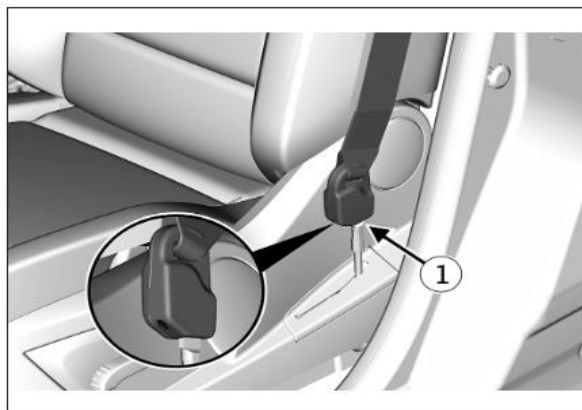


6. リチウムイオンバッテリー取り外し

1. イグニッションスイッチを OFF にする。
2. フードを開く。
3. 電流センサコネクタ③、および 電流センサ⑦ の接続を外す。



4. アースケーブル⑤を脇に寄せる。
5. 運転席シートのベルト①を外す。(下図は助手席側を示す。)

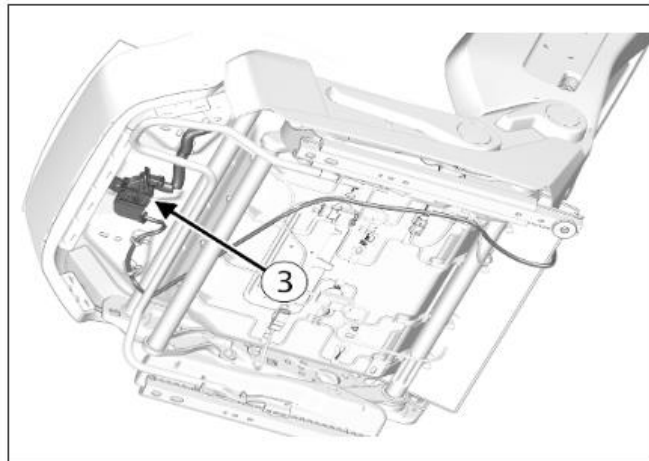


6. 運転席シートレールのボルト②を取り外す。



リチウムイオンバッテリー取り外し

7. マイナスドライバでコネクター③の接続を外す。



8. 運転席シートアッセンブリを取外す。
9. 下記の順に部品、接続を外した後にリチウムイオンバッテリーを取り外す。
- クラッシュボックスの取外し
 - ハーネスコネクターの取外し
 - マイナスターミナルの接続を外す
 - プラスターミナルの接続を外し、絶縁テープを端子部に貼り付け保護する。
 - ガス抜きパイプの接続を外す。



10. 取り外したバッテリーのハーネスコネクター、端子に絶縁テープ等を貼り絶縁処理を行う。

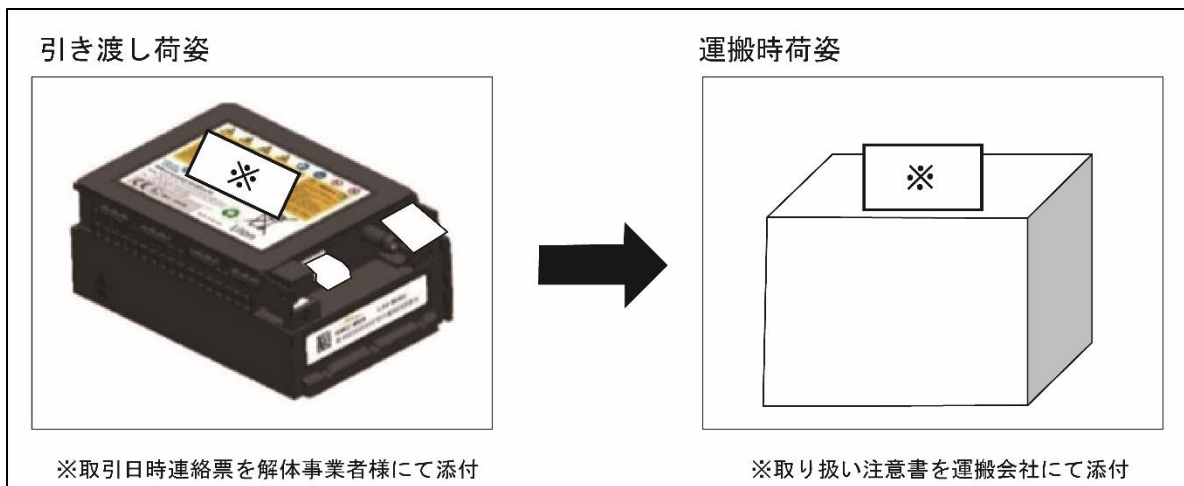


7. 引き取りの準備

(1) リチウムイオンバッテリーパック梱包方法

リチウムイオンバッテリーパックは、段ボールに収納し、梱包します。収納は解体業者様、梱包は運送会社のドライバーが行います。段ボールと緩衝材は、運搬会社のドライバーが持参します。

回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリーに貼り付けをお願いします。



本書は、著作権で保護されております。私的複製を除き、本書の全文又は一部をルノー・ジャポン（株）に無断で複製、改変することなどを、媒体を問わず禁止します。このような不正使用行為は、民事上の損害賠償の、また刑事罰の対象となります。

©Copyright 2022 Renault Japon Co. Ltd., All rights reserved